

平塚球場に校歌流れる。 1回戦 2-0で完封勝利

7月16日(土)午後1時30分より平塚球場にて、釜利谷・永谷・臨海・明光の合同チームと対戦し、2回戦を見事、完封勝利で飾りました。

1回表の守備では、サードゴロをエラーし、最初のバッターをセーフにしてしまいました。その後、ランナーは2塁まで進みハラハラドキドキしましたが、後続のバッターを三振と内野ゴロに仕留め、初回を0点に抑えました。

その裏の攻撃は、本校も2塁まで出塁しましたが得点が取れませんでした。

両チームとも出塁するものの得点に結びつかない状況の中で、4回裏1アウト満塁のとき、1年次生のセカンドゴロの間に1点をもぎ取りました。続く6回裏1アウト2塁のとき、またもや1年次生がレフト前にヒットを打ちました。2塁ランナーは3塁を駆け抜け、一気にホームへ突っ込み2点目を取りました。

また、8回裏1アウト1・3塁となったとき、1塁ランナーが1・2塁間に挟まれました。この瞬間3塁ランナーはホームを狙いベースを離れたのですが、ピッチャーの牽制球がやや速く3塁でタッチアウト。ダメ押しの追加点は取れませんでした。9回表を0点に抑さえ、総合学科開校13年目にして初戦を突破しました。

この試合の守備では、満塁のピンチが3回もありましたが、苦しい時でもエース・ピッチャーが、後続をぴしゃりと抑さえ、流れを相手に渡すことなく「6安打8三振」で完封しました。

なお、この試合には、小林達也監督の恩師「小尾先生」がわざわざ山梨県から駆けつけ、固唾を呑んでこの試合を見守っていました。「小尾先生の想い」と「応援団約100名の気持ち」そして選手の「地道な練習」が実った貴重な一勝でした。

3回戦は、7月19日(火)相模原球場で第一シードの日大高校と対戦しましたが、残念ながら6回17-0のコールド・ゲームで負けてしまい、3年生の夏の試合は終わりました。また、来年の夏に向けて出直します。

7月16日の試合の様子は、次のとおりです。

